



第9回建築設備シンポジウム

「環境建築の新たな展開に向けて」

主催：日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会

後援（予定）：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、電気設備学会、日本設備設計事務所協会、建築設備総合協会、
日本冷凍空調学会、照明学会、日本建設業連合会、日本空調衛生工事業協会、建築設備コミッションング協会

日時：2013年10月24日(木) 10:00～16:45

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

地球環境・都市環境・人との調和を目指す「環境建築」実現のために、これまで多くの環境配慮・エネルギー有効利用の手法が提案され試みられ、成果が確認され普及してきた。建築・設備をともに高性能化して一体的に機能させる方向、多視点で総合的に環境を設計する方向、ZEBを目標にする方向へと発展してきた。東日本大震災を契機に、災害に強い建築、さらなる節電・省エネと多様な創エネ、地区としてのゼロエネルギー、環境の質の見直し、建物運用法の変化や発熱密度の小さい建築への体質変化などの新しい流れに対応する価値基準や多くの技術開発が今後生まれる方向にある。このような背景のもと、話題の環境建築の設計者からコンセプトや設計技術を、大学研究者から最新研究や今後の展望をご紹介頂き、環境建築の新たな展開に向けて、「環境建築」の創り方、あり方を幅広く論じる。

プログラム

趣旨説明 郡公子（宇都宮大学）

10:00～10:10

(1)第1部 「話題の環境建築に学ぶ」

司会：長井達夫（東京理科大学）

1-1 環境建築を推進するためのエンジンとは 野原文男（日建設計）

10:10～10:40

1-2 鹿島建設技術研究所本館研究棟 弘本真一（鹿島建設）

10:40～11:00

1-3 電算新本社 長谷川巖（日建設計）

11:00～11:20

1-4 新潟日報新社屋 山崎竜士（石本建築事務所）

11:20～11:40

1-5 大正製薬関西支店 篠島隆司（竹中工務店）

11:40～12:00

1-6 第一三共研修所 NEXUS HAYAMA 佐々木真人（日本設計）

12:00～12:20

1-7 東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館映画保存棟Ⅱ 松浦肇（安井建築設計事務所）

12:20～12:40

(2)第2部 「最新研究に学ぶ」

司会：長谷川巖（日建設計）

2-1 環境建築におけるコミッションングとは 吉田治典（岡山理科大）

13:40～14:10

2-2 熱源システムの性能劣化を考慮した長期保全計画の導入効果 赤司泰義（東京大学）

14:10～14:25

2-3 学校建築におけるハイブリッド空調システム 秋元孝之（芝浦工業大学）

14:25～14:40

2-4 ヒューマンファクターと設備 近本智行（立命館大学）

14:40～14:55

2-5 節電照明を経た今後のオフィス照明環境 望月悦子（千葉工業大学）

14:55～15:10

2-6 足元の熱エネルギー有効利用 中尾正喜（大阪市立大学）

15:10～15:25

(3)総合討論 「環境建築の新たな展開に向けて」

15:35～16:35

コーディネータ：石野久彌（首都大学東京）

パネリスト：野原文男、長谷川巖、弘本真一、松浦肇 吉田治典、赤司泰義、近本智行、望月悦子

まとめ 郡公子（前掲）

16:35～16:45

参加費：会員：2,000 円、後援団体／会員外：3,000 円、学生：1,500 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：280名（申し込み先着順）

Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=569> よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本 tel:03-3456-2051 E-mail:enomoto@aij.or.jp